

4 情報科目

<p>授業の概要</p>	<p>パソコン等を取り扱う能力だけでなく、事象を的確に認識すると共に課題を発見し、その解決にICT（Information and Communication Technology）を活用できる能力の育成を目指す。</p> <p>前期に、全員が必修となる「情報リテラシー実践Ⅰ」を提供する。ツールとしてICTを活用し、具体的な課題解決に取り組む。学部・学科によっては、表計算ソフトの発展的利用として、基礎的な統計処理に取り組む「情報リテラシー実践ⅠA」や、基礎的なプログラミングに取り組む「情報リテラシー実践ⅠB」を指定することがある。（情報リテラシー実践Ⅰ、ⅠA、ⅠBのうち、学部・学科が指定する一科目が必修科目であり、その他の一科目は履修することができない。）</p> <p>後期に、「情報リテラシー実践Ⅰ」で習得したICT活用の基礎的な知識や技能を、実践的な課題解決に応用する「情報リテラシー実践ⅡA」、「情報リテラシー実践ⅡB」、「情報リテラシー実践ⅡC」を提供する。これらは選択科目である。</p> <p>○「情報リテラシー実践Ⅰ」（前期 2単位 必修）</p> <p>ツールとしてICTを活用し、情報の収集、分析、判断、編集、発信、コミュニケーションといった情報活用に関わる能力の向上を目指す。情報機器の使い方を学ぶだけでなく、具体的な課題解決を行う。</p> <p>○「情報リテラシー実践ⅠA」（前期 2単位 必修）</p> <p>基本的な情報活用能力に係る知識・技能を習得すると共に、表計算ソフトの発展的利用として、基礎的な統計処理を含む問題解決に取り組む。</p> <p>○「情報リテラシー実践ⅡA」（後期 2単位 選択）</p> <p>統計学の基礎とデータ分析の知識・技能、そして、データベースの特徴や機能とデータ処理について学ぶ。また、実践的な課題を通して、統計処理とデータベースの活用に取り組む。</p> <p>○「情報リテラシー実践ⅡB」（後期 2単位 選択）</p> <p>計算機科学やプログラミングの基礎的な知識を学び、実際にプログラムを作成することを通して、数理科学的な問題解決に取り組む。</p> <p>○「情報リテラシー実践ⅡC」（後期 2単位 選択）</p> <p>画像と音のデジタル化の原理を学び、コンピュータ上での画像と音の作成および活用に取り組む。</p> <p>前期の「情報リテラシー実践Ⅰ（又はⅠA）」は、全員が履修する科目である。再履修を除いて、履修申請の必要はない。再履修クラスの申請時期・方法については、南大沢キャンパス1号館教務課A掲示板の掲示を確認すること。</p> <p>後期の「情報リテラシー実践ⅡA」、「情報リテラシー実践ⅡB」、「情報リテラシー実践ⅡC」については、選択科目なので履修申請の手続きが必要となる。申請時期・方法については、南大沢キャンパス1号館教務課A掲示板の掲示を確認すること。</p>
--------------	--

履修申請方法

「情報リテラシー実践Ⅰ（又はⅠＡ）」は、全員が履修する科目であり、再履修クラスを除き、学部・学科別のクラス編成となる。新入生の指定クラスについては、授業開始前に掲示する。

クラス編成

情報リテラシー実践Ⅰ クラス編成表

対象学部	クラス番号	授業科目
人文社会学部	10番台	Ⅰ
法学部	20番台	Ⅰ
経済経営学部	30番台	ⅠＡ
理学部	40番台	Ⅰ
都市環境学部	50番台	Ⅰ
システムデザイン学部	60番台	Ⅰ
健康福祉学部	70番台	Ⅰ（看護はⅠＡ）
再履修クラス（※）	80・90番台	Ⅰ・ⅠＡ

※学部ごとのクラス指定なし

後期の「情報リテラシー実践ⅡＡ」、「情報リテラシー実践ⅡＢ」、「情報リテラシー実践ⅡＣ」については、選択科目のため、学部・学科別のクラス編成は行わない。